

(有)上光石材工業

墓石から住宅建材まで扱う

石材のプロフェッショナル

上光石材工業は、昭和四十七年九月に創業した、お墓の建立やリフォーム、メンテナンス全般に関わる業務を行っている会社である。今年（平成二十八年）で創業四十四周年を迎え、現在では、墓石事業のみに限らず、一般住宅の玄関床面から店舗の壁面、さらに橋梁などの公共工事等、石材を使った設計・加工・施工業務まで、幅広く事業を展開している。

企業データ

会社名：有限会社 上光石材工業

所在地：江別市牧場町1番地21

TEL：011-383-1232

創業：昭和47年9月

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役 伊藤裕己



上光石材工業の技術では石材に文字のみに限らず、絵さえ刻むことが可能である。

採石場探しと顧客の信頼

石材は人工物ではなく、天然物である。採石場に埋まっている石の量には限りがあり、限界が見えれば次々と新しい採石場を探さなければならない。

石材の質では、国産石が最上級である。しかし、その希少性や人件費の高騰による価格上昇で、一九八八年のソウルオリンピック以前までは韓国から、八八年以降は中国から輸入した石材を中心に加工している。当社は、たとえ輸入石であっても採石現場に社員を派遣して、厳格な品質管理を行なっている。顧客の信頼を何よりも大事にしている証である。

顧客とつながる信頼 〜6つの安心〜

- ①アフターサービスの保証期間を十五年に設定する（通常は、約十年）。
 - ②通常より多い量の生コンを使用し、鉄筋を使用することで基礎強度を高める。
 - ③国土交通省認可の「施工管理士」が責任ある仕事をし、高品質・安心価格を保証する
 - ④特許を有する耐震工法で万全な施工をする。
 - ⑤北海道知事認可の「石材施工技能士」が新鋭設備を駆使し、精度の高い石製品を生み出す。
 - ⑥豊富な彫刻文字（書体二十種以上）の選択肢を提供。
- さらに、自社工場の所有によって天災地変への対応力が高く、他社からもリカバリーのための委託もある。会社の技術力と信頼の高さの証となっている。



代表取締役 伊藤裕己さん

若者への一言

何事も諦めず、根気よく頑張りが続けることが成果を生み出す、と語られました。

コラム

〜私たちが取材しました

取材を担当したウ・ウンジェは、韓国からの交換留学生です。社長、一つのことに向かって頑張れ、というお話から、「井戸を掘るにしても一つの井戸を掘れ」という韓国の諺を思い出しました。何かを成し遂げるために求められる、万国共通の真理だと実感しました。



中央：代表取締役 伊藤裕己
左側：カメラ担当 井田若菜
右側：取材担当 ウ・ウンジェ